

ある午後

道端に座り込み

黄金色の稲穂を眺めている

午後の陽射しが

紡錘形をした一粒一粒を宙に転がす

かさかさとした音とともに

青い空を背景にして揺れている

無作為な意思というものがあるのかもしれない

方向性を有しない意思というものがある

エナメル質に変化したような葉を透かして

影が落ちている

(2009.12.1)